

神戸大学医学部附属病院

消化器内科

指導担当医（役職）

上田 佳秀（特命教授）

井上 潤（助教）

実習概要

実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

概要

消化器内科の主治医団の一員として過ごしていただきます。オーダー（投薬）は行いませんが、それ以外の医行為はほぼ初期研修医と同等にさせていただきます。主治医団の患者の病棟回診、検査への参加、病態把握、患者さんの病状説明への同席、治療計画を立案、カルテ記載を行います。症例カンファレンスでは口頭での症例プレゼンテーションを行います。その他、内視鏡・エコーの実習なども行います。

実習スケジュール

1. 病棟実習：希望する消化器領域の病棟グループに加わり主治医団の一員として入院患者診療を行います。回診、検査への参加、病態把握、患者さん病状説明への同席、治療計画を立案、カルテ記載など。
2. 上部・下部内視鏡検査・治療見学：スクリーニング検査から早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術などの最先端の内視鏡的治療までを見学します。
3. 胆膵検査・治療見学：ERCP や超音波内視鏡検査による胆膵疾患の診断と、これらを用いた内視鏡的治療の最先端を見学します。

4. 超音波検査・肝臓処置見学：腹部超音波検査の基本から肝生検や肝臓に対する局所治療などの処置を見学します。
5. 内視鏡シミュレーター実習：シミュレーターを用いて実際に内視鏡検査を体験します。
6. 腹部超音波実習：シミュレーターを用いたり、学生同士お互いに超音波検査を体験します。
7. 外来見学：消化器内科外来診療や救急対応の現場（緊急内視鏡など）を見学します。
8. 病棟カンファレンス参加：興味深い入院症例のカンファレンスでの議論を通じて様々な消化器疾患への理解を深めます。毎週の症例カンファレンスでは口頭での症例プレゼンテーションを行います。
9. 先輩医師との面談：医師の将来像について相談する機会を持ちます。
10. 教授による総括：消化器内科の臨床・研究について教授と議論します。

学生へのメッセージ

消化器の領域は、臓器としては食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆道、膵臓があり、それぞれの臓器に腫瘍、炎症、自己免疫疾患、感染症、機能異常など多岐にわたる疾患があります。また、内視鏡や超音波を用いた各種検査や内科的治療（内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、胆膵内視鏡治療、経皮的ラジオ波焼灼術、癌化学療法など）など多くの手技や治療があることも大きな特徴です。

このように、消化器内科はたくさんの臓器、たくさんの疾患、たくさんの手技があり、その結果、たくさんの患者さんが受診する診療科です。これまでの授業や実習ではこれらの一部を伝えてきましたが、もっと広く学びたい、手技を見学したい、検査を実際に経験したい、特定の分野を深く学びたい、など、個人個人の「もっと学びたい」を叶えることができるように、希望に応じた個別プログラムを取り入れた実習を行います。上記以外の実習希望についても相談しましょう。研究カンファレンスへの参加や、研究室見学もできます。消化器内科のおもしろさを学び、実際に体験できる実習にしたいと思います。